

令和7年度 万博推進局運営方針

（所属長：彌園 友則）

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」	
目標	○ 2025年日本国際博覧会の成功はもとより、一過性のイベントに終わらせることなく、万博のインパクトを最大限活かし、大阪・関西の成長発展につなげることをめざす。
使命	○2025年日本国際博覧会の円滑な運営に取り組み、成功に導くこと。 ○万博を一過性のイベントとして成功させるだけでなく、そのインパクトを最大限に活かし、大阪の持続的な成長につなげる。
令和7年度所属運営の基本的な考え方	大阪・関西の発展に大きく貢献し、地域の魅力を全世界に発信する絶好の機会である2025年日本国際博覧会の成功に向けて以下のとおり取り組む。 ・万博のコンセプトである未来社会の実験場の体現に向けた取組、会場建設費等の執行管理、大阪ヘルスケアパビリオンの運営、府民・市民等への広報PR活動等による機運醸成・来場促進、及び参加促進、TDMなど交通アクセスに関する取組、国内外からの賓客の受け入れ等に取り組む。 ・国や博覧会協会、府市関係部局、関西広域連合等と連携して万博の円滑で安全・安心な運営に取り組む。

重点的に取り組む経営課題						
経営課題1 2025年日本国際博覧会の成功						
		5決算額	14,846百万円	6予算額	68,899百万円	7予算額 24,128百万円
課題認識		・2025年日本国際博覧会の成功に向け、未来社会の実験場の体現、会場建設費等の執行管理、大阪ヘルスケアパビリオンの運営、機運醸成・来場促進、参加促進、TDMなど交通アクセスに関する取組、国内外からの賓客の受け入れ等を着実に進めるとともに、万博に要する経費の厳格な執行管理を行う必要がある。				
主な戦略 (課題解決の方策)		【総論】 ○国や博覧会協会、経済団体等の関係機関、各府県市、関西広域連合や府民・市民など多様な主体と緊密に連携して万博の円滑で安全・安心な運営に取り組む。 【会場建設費等の執行管理】 ○会場建設費や運営費については、博覧会協会において引き続き厳格な執行管理とコスト縮減に努めるとともに、理事会の機会などを通じて執行状況を定期的に取りまとめ公表していくこととしている。こうした機会をとらえ、博覧会協会と密に連携しながら、今後も厳格に執行管理を行う。 【大阪ヘルスケアパビリオン】 ○地元自治体として大阪が世界に貢献する姿を示し、その強みや魅力等を全世界に発信するため、大阪ヘルスケアパビリオンの運営及び情報発信等を実施する。 ○パビリオン内の展示や、バーチャル大阪ヘルスケアパビリオンを通じて、府内市町村の魅力や大阪の中小企業・スタートアップの優れた技術力を発信する。 ○大阪ヘルスケアパビリオンの取組をハード・ソフト両面でレガシーとして継承するべく準備を進める。 【機運醸成・来場促進】 ○博覧会協会や経済界等とも連携し、機運醸成委員会で策定した「機運醸成行動計画」に基づき、PR重点期間等を中心に、府民・市民一人一人に向けたPR活動や万博への理解促進、来場意向度の向上につながる取組の推進などによって機運醸成を図る。 ○国や博覧会協会、その他関係機関とも連携し、各主体が有するツールやネットワーク等を活用して来場促進・プロモーション活動を展開する。 ○万博来場サポートデスクの設置等によりチケット購入・来場日時予約等の促進を図る。 【参加促進】 ○大阪府内の主要駅、空港での万博情報、交通情報、観光情報等の案内や大阪ヘルスケアパビリオンでの案内、観覧サポート等を行うボランティア活動を運営する。 ○大阪府・大阪市を中心に府内の市町村と一体となり、春・夏・秋の3期にわたって大阪の魅力や特色を国内外に発信するため、万博会場内で「大阪ウィーク～春・夏・秋～」を開催する。 【TDMなど交通アクセスに関する取組等】 ○万博期間中の円滑な万博来場者輸送と都市活動の両立に向け、企業や住民等に対しTDM（交通需要マネジメント）の取組みへの協力の働きかけを実施する。 ○国や関係機関と連携し、閉幕後、会場施設等撤去にかかる調整を行う。 【賓客の受け入れ】 ○万博を契機に大阪のプレゼンスを高めるとともに、閉幕後の大阪の発展につながるビジネス分野を含む様々な関係構築をめざし、約160の国・地域、国際機関からの賓客に対し、地元自治体として適切かつ丁寧な接遇を実施する。				
アウトカム指標 (経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標)		※重点目標 ・2025年日本国際博覧会の円滑な運営に貢献する。				
アウトカム指標の達成状況 (定量評価)		7年度実績と達成状況 ※A：達成 B：未達成			前年度実績	

自己評価 (運営方針全体の定性評価)	
今後の方針	